神奈川新聞　1999年（平成11

介護の悩み抱えないで

三浦市が「在宅支援センター」開設

三浦市は地域福祉センター（同市栄町）で二十四時間体制の在宅介護支援センターの業務を開始、介護についての悩みや相談を受け付けている。市内には既にセンターを設けている老人ホームが二カ所あり、市のセンターは、こうした施設と情報交換して対応する「基幹型」としての役割を担う。

電話相談／サービスの情報提供…

老人ホームと連絡調整も「基幹型」施設に

社会福祉協議会の専門職員が親身になって相談に応じる三浦市の在宅介護支援センター

介護保険制度のスタートが迫る中、同市の高齢化率（約一七％）は県内十九市中三番目に高く、介護に対する関心が高まっているため、市民の疑問や不安の解消に活躍してくれそうだ。

センターでは、市社会福祉協議会の専門職員二人が、要介護者を抱える家族などから相談を受け付ける。具体的には①要介護者人の心身の状況把握と介護ニーズの評価②ショートステイやホームヘルプなどの各種サービスについての情報提供と利用申請の代行③介護方法のアドバイスや介護用品や器具の紹介―などの事業を行っている。

電話相談や窓口での面談に加え、対象世帯に出向いての指導、助言も実施。基幹型センターとして、既にセンターを開設している美山ホーム（初声町下宮田）、はまゆう荘（三崎町諸磯）との連絡調整や蓄積した情報の集約化を進め、市民の幅広いニーズにこたえる方針だ。

電話相談には無休で応じ、夜間や休日は市立病院で対応する。問い合わせは☎0468(82)1066。